

令和6年度 第3回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年10月26日（土） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 太田富次郎、伊藤順子、森田智佳、兼子賢治、
- 4 欠席委員 渡邊剛一、平野和江、甲斐加奈恵
- 5 学校支援コーディネーター 町田和代
- 6 学 校 河内浩（校長）、村田昌士（教頭）、阿部泰幸（教務・CS担当）、
村瀬美恵子（CSディレクター）、原田満、高津陽子、今井忍、鈴木果穂、
本間由美子、前原侑希、鈴木やよい、星野亮、小野弘太郎、水口侑里、
中村耕介、中野典子、西尾美緒、橋本麻衣、杉本望、山本賢太、江間徹、
中村寿美英、小山鮎実
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター村瀬美恵子
- 9 議長の選出 太田会長が、本日の議長を務めることを申し出て、全員、異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - （1）第1回学校評価の分析についての報告（教務）
 - （2）チェンジステージの取組についての報告と御意見
 - （3）令和7年度 目指す子供の姿について
- 11 会議記録
 - （1）挨拶

議長の太田会長から、委員総数7人のうち4人の出席があり、過半数に達している為、会議が成立している旨の報告があった。

太田会長から、行った学習支援ボランティアで子供たちの上達ぶりを見て楽しさを感じたことについて話があった。また、今後も学校と地域が知恵を出し合って子供たちの学習を支えていきたいとの挨拶があった。

続いて、河内校長から、あらっこフェスタの異年齢交流、特技発表での子供の自信と満足の姿、陸上記録会での素晴らしい成績、通学班旗の購入について話があった。また、課題として、自転車事故が起きそうになったこと、保護者の送迎時の駐車の方法、登校時間の厳守等についての話があった。

次に、議長の太田会長が前回会議録を読み上げた。委員全員で内容を確認し、異議なく承認した。

（2）熟議

①第1回学校評価の分析についての報告

教務より、前期学校評価の結果と全国学習状況調査（6年生）の結果と分析、今後の方向性について説明があった。内容は以下の通り。

○80%以上の子供が「教師による授業の工夫」「分かるまで教えてくれる」「ほめて助けてくれる」「家や学校の決まりを守る」等の設問について肯定的に回答し「できている」と自己評価している。

○保護者は「教師による授業の工夫」「相談しやすさ」「地域の人材の活用」「子供への優しい接し方」「自分や友達のよさを見付ける」「家庭で親子がよく話す」の設問について、肯定的に回答した割合が高い。

○「スマホ・PCの家庭での約束が守れていない」「社会を良くするために行動したい」等については肯定的な回答が子供・保護者ともに低い。

○2学期の取り組みとして「自分の良さを見つけ合い、高め合う」「ノーメディアデー、

情報モラル講演会」を実施していく。

委員からは、この説明に対して、下記のご意見をいただいたうえで、学校の取組に対し、異議なく承認した。

- スマホを手にした小学生の姿から、使い方を間違えないよう願う。(伊藤委員)
- 親子の関わりと会話の少なさに、言葉遣いの対応と豊かな読み聞かせを。(森田委員)
- SNSの広がり見える世界の広がりであるが、親の理解の戸惑いがある。(兼子委員)
- 帰宅後にスマホを手にする孫に、決めた時間が伸びている実態を危惧している。
(太田会長)

(2) チェンジステージの取組についての報告と報告に関するご意見

①報告

○やさしい子部(水口教諭)

- ・互いの良さを見つけ合うこと、正しい言葉遣い、自己肯定感が高まる声掛けに力を入れる。
- ・挨拶レベルアップ週間・良さ見付け・言葉遣いに関するエンカウンターを行う。

○かしこい子部(今井教諭)

- ・基礎基本を身に付けた子を目指す。
- ・見通しを持たせることに力を入れる。また、自分の考えを持たせたうえで、友達との学び合いを行い、学びの価値に気付くことができるようにする。
- ・家庭学習で自主学習を行っていく。評価を工夫したり、写真を掲示したりして広めていく。
- ・授業展開は思考の可視化を意識して、協働的な学びを取り入れる、

○たくましい子部(山本教諭)

- ・持久走記録会に向け、目標の果たせ方を工夫していく。
- ・ノーメディアデーを実施し、意味ある活動であることを保健便りで知らせる。

②報告に関する御意見

○挨拶は、家庭と学校で協力し、内外でレベルアップをしてほしい。

(太田会長・伊藤委員・校長)

○タブレット活用の学びと成果は大きくステップアップした。便利さと実践に感謝。

参観会時は楽しく参観している。(兼子委員)

○子供の歩行時はリュックで両手を開けての行動を願う。(森田委員)

以上のような意見をいただいたが、委員全員で内容を確認し、異議なく承認した。

(3) 令和7年度 グランドデザインの作成に向けて

①R6目指す子供の姿の確認について、校長から説明

○VUCAの時代、予想困難な社会の変化の時代と言われている現在、子供たちが、主体的に関わり、目的を自ら考え、多様な人々と協働しながら持続可能な社会と幸福な人生を作り出す力の基礎を身に付けることができるようにしていく。

○学校教育目標は「自ら考え みがき合う子」。願いは「やさしく(豊かな心)、かしこく(確かな学力)、たくましく(健やかな体)を持つこと。

○今年度は、「自ら考え」に力を入れ、子供の主体的な姿(課題の発見・解決方法を考えて実践)が表れるように実践してきた。また、「みがき合う子」は対話により考えに広がり深まりが生まれるよう、他者との協働を意識してきた。

②協議

○グループ協議

子供たちの理想の姿・理想を基にした現状・子供たちが理想に近付くための方法を、4つのグループに分かれて、KJ法で分析をした。各グループからは、以下の意見が出された。

◇A グループ

- ・竹のような子供（しなやか・葉音・根をはる）が理想
- ・現状は、表面的な仲の良さに終始している子もいる。悪い協働や人との関わりの少なさの影響を感じる。
- ・ICTを使い、主体的かつ良い協働ができる子供に育てたい。

◇B グループ

- ・自分の考えをもち、行動力をもつ子供が理想
- ・現状は、指示待ちで考えが持てない子もいる。失敗に対する不安が大きい。
- ・失敗をしてもやり抜く子供に育てたい。

◇C グループ

- ・自分の考えを伝える子。認め合う子。前向きな主体性をもつ子が理想
- ・現状は、自信が無く、神経質で打たれ弱い子もいる。
- ・安心できる場所作りや良さを広げる場所作りをする。モデルを示して模倣させ、自信をつけることから始めたい。

◇D グループ

- ・相手を思いやる子、自分の考えがもてる子、意見を出すことができる子が理想
- ・現状は、汚い言葉を使ったり、挨拶ができなかったりする子もいる。
- ・よいこと見つけを積極的に行い、褒めることから始めたい。また、夢を目標に生活リズムを整えることの奨励、職業人や先人の話を聞く機会を取り入れていきたい。

③感想

協議後、委員より以下の感想があった。

- ・自信の無い子や言葉は達者でも行動できない子には、豊かな体験を。（太田会長）
- ・学校は良く見ている。社会では挨拶と自信、発言できる力が大切。憧れと夢、目標に向き合う姿の実現が集中力のアップや自信につながる。（兼子委員）
- ・自信と自己肯定感は大切。地域性から優しい子が多い。豊かな職業人の話を聞かせたい。学校のやり方は良い。地域人として協力していく。（伊藤委員）
- ・学校と家庭に感謝。ステップアップのため地域の連携が必要。（森田委員）
- ・職員と委員のこうした話し合いが子供の育ちにつながる。子供の自信を育むための必要な取り組みである。新たな関わりと学びを深める為にも進めていきたい。

（校長）